

篠原中で横浜市長選の模擬投票

未来の市長
を目指して

横浜市長選挙のちょうど5か月前の3月3日、横浜市立篠原中学校で開催した出前授業では、本番さながらに市長選の模擬投票を行いました。



公約が書かれた、生徒手作りの選挙公報

■理想の街を考える

中学生に、自分たちの住む横浜に関心を持つもらうこと、授業と世の中をつなげることが狙い。

クラスの代表が候補者となり、どのような街にしたいか、**公約**を掲げて、賛成・反対の意見を交わしました。

- ・カジノを含む統合型リゾートの誘致
- ・中学校の全員給食
- ・子ども医療費の無料化による少子化対策

■生徒から「貴重な体験ができた」との声

Aさん 「自分が納得する人に投票して、自分の意見を政治に反映させることの重要性を学んだ。みんながが住みたい、住みやすい横浜になってほしい」

Bさん 「一票の大切さを知り、有権者になったら実際に投票に行こうと思った」



真剣に考えて投票する生徒たち

創刊100号の発行にあたって

お陰様で今回、記念すべき節目の創刊100号を発行することができました。市の記録によると、この協議会が設立されたのが昭和38(1963)年。翌年には最初の東京オリンピックが開催され東海道新幹線が開通しました。時代は変わり、インターネットの普及などにより世の中だけでなく選挙制度や啓発手法も変わりつつあります。これからも様々な話題を提供してまいります。

世の中の出来事	年	選挙制度の変遷
阪神・淡路大震災	1995・平成7	衆議院議員選挙が小選挙区制へ
20世紀が終わる	2000・平成12	在外投票、海外でも投票可能に
みなとみらい線開通	2004・平成16	期日前投票が始まる
富士山が世界遺産登録	2013・平成25	インターネット選挙運動が解禁
映画「君の名は」ヒット	2016・平成28	選挙権年齢が18歳に引き下げ
ロシアのウクライナ侵攻	2022・令和4	衆議院小選挙区で港北区が単独で神奈川7区となる



スーパーの前の啓発（港北区）

1995(平成7)年参院選の街頭啓発風景
デジタルアーカイブ「選挙のあゆみ」から